

# 世 界 史

(問 題)

2011年度

〈2011 H23051119〉

## 注 意 事 項

1. 問題冊子は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～12ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 試験開始後、マーク解答用紙の所定欄に氏名を記入すること。
5. マークははっきり記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがなくよく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

6. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 以下の問題文を読み、設問の答えを所定のマーク解答用紙にマークしなさい。

かつてH・バターフィールドは17世紀を科学革命の時代と命名したが、たしかにこの世紀には、中世以来のキリスト教会や修道院を中核とする宗教的な価値観や世界観から脱却して、神の摂理ではなく、観察や再現可能な実験によって自然界のありようを科学的に追究しようとする機運が生まれた。その具体的な現れが、西欧諸国における科学アカデミーの相次ぐ創設だった。たとえば、1662年に国王の特許状を得て準公的団体として発足したイギリス王立協会は、Aの著者で、万有引力の法則や微積分法を発見・考案したニュートンや、気体力学の法則を発見して「近代化学の父」と呼ばれたBらを会員として科学の普及や発達を促進した。1666年に創設されたフランス科学アカデミーもまた、科学技術の振興を目的とした。さらに、ドイツでは1700年に王立科学協会が創設されたが、それ以前、天文学者で占星術師でもあったケプラーは遊星（惑星）の運行法則を確認し、天動説に対する地動説の優位を決定的なものとしている。オランダの物理・天文学者だったCは、土星の環を発見し、振り子時計も発明した後、フランスに招かれて、科学アカデミーの会員になった。

一方、17世紀には、科学知を背景として、人文・社会科学の分野でも新しい動きが登場している。イギリスの科学者・哲学者で、「知は力なり」の名言で知られるフランシス＝ベーコンは、未完の大著Dを著して、学問・科学的認識の新しい方法としての帰納法を説き、同じイギリスの哲学者・政治学者のロックは、『人間悟性論』で経験論を主張し、啓蒙思想に大きな影響を与えた。これに対し、フランスの哲学者デカルトは「われ思う、ゆえにわれあり」の言葉で知られる『方法叙説』を上梓してEを説いた。また、数学者・哲学者・物理学者で、デカルトに批判的だったパスカルは、16歳にして円錐曲線に関する試論を書き、やがて水圧の原理（パスカルの原理）を発見し、確率論を創唱している。だが、遺稿集の『パンセ』からも分かるように、彼は39歳という短い生涯の晩年を、科学者としてよりもむしろ宗教者として送った。

デカルトが研究活動の大部分を送ったオランダでは、彼の影響を受けたとされるユダヤ系オランダ人のスピノザが「神即自然」、すなわち神と万物とが同一であるとする一種のFを唱えた。さらに、ニュートンとほぼ同時期に微積分法を創始したドイツの哲学者・数学者で、政治家・外交官でもあったGは、ロックの経験論を初めとする時代の様々な思想や学問を深く学び、『单子論』を著している。彼はまた前記王立科学協会、のちのベルリン科学アカデミーの初代院長に就任している。

こうした17世紀の帰納的経験論や演繹的合理論は、しかし18世紀のドイツの哲学者カントによって独断的だとして退けられる。彼はニュートンの自然哲学やヒュームの研究を受け入れながら、認識の可能性や限界を明らかにするべく、批判主義の立場からドイツ観念論を唱えた。彼はまた太陽系が星雲から生成されたことを論証し、フランスの天文・数学者のラプラスは、この星雲説を手がかりに、宇宙の成立を科学法則から説明しようとして、1796年に宇宙進化論を説いた。それは、大著『一般と個別の博物誌』を著して、生物進化論の先駆者とされるフランス人博物学者のHが、惑星の誕生を太陽と彗星の衝突に求めてから約20年後、ダーウィンが進化論を唱えるより半世紀以上前のことだった。

設問 I 問題文中の空欄 A ～ H に入るもっとも適切な語を1つ選びなさい。

- |   |             |            |             |            |
|---|-------------|------------|-------------|------------|
| A | a 『リヴァイアサン』 | b 『社会契約論』  | c 『コモン＝センス』 | d 『プリンキピア』 |
| B | a ハーヴェー     | b ボイル      | c ダービー      | d マリオット    |
| C | a ホイヘンス     | b マテオ＝リッチ  | c アダム＝シャルル  | d ラヴォワジエ   |
| D | a 『天路歷程』    | b 『新オルガヌム』 | c 『哲学書簡』    | d 『精神現象学』  |
| E | a 歴史哲学      | b 自然主義哲学   | c 合理主義哲学    | d 実証主義     |
| F | a 単一神論      | b 唯神論      | c 社会有機体説    | d 汎神論      |
| G | a ライプニッツ    | b ヴォルフ     | c シェリング     | d ブーヴェ     |
| H | a グランベール    | b ボーダン     | c ビュフォン     | d リンネ      |

設問Ⅱ 問題文中、下線部①～⑦に関する以下の問いの答えとして、もっともふさわしいものを1つ選びなさい。

- ① 中世のキリスト教会や修道院およびそれに関連する事項に関する説明で、誤りを含むものはどれか。
- a ローマ＝カトリック教会の最高首長である教皇は、5世紀以降、使徒パウロの後継者として、全教会に対する首位権を主張するようになった。
  - b 13世紀に生まれた托鉢修道会は、修道院の封建領主化や富裕化を批判して生まれた修道会で、フランチェスコ（フランシスコ）会やドミニコ会がその典型である。
  - c 教皇がフランス王に捕囚された1303年のアナーニ事件は、教皇権没落の端緒となった。
  - d 1414年から18年にかけて、神聖ローマ皇帝ジギスムントの呼びかけで開かれたコンスタンツ公会議で、宗教改革者のフスが異端者とされ、焚刑に処された。
- ② 科学アカデミーおよびそれに付随する事項に関する説明で、誤りを含むものはどれか。
- a イギリス王立協会は、すでに1640年代に活動を開始していた科学者たちの私的な団体を前身とする。
  - b ニュートンはイギリス王立協会の会長となっている。
  - c フランス科学アカデミーは、フランス王室からの下賜金によってリシュリューが創設した準公的機関である。
  - d フランス科学アカデミーに先だって、アカデミー＝フランセーズが創設されている。
- ③ 1700年より前に起きた歴史的できごとは以下のどれか。
- a スペイン継承戦争勃発      b プロイセン王国成立
  - c 大ブリテン王国成立      d ファルツ（プファルツ）継承戦争終結
- ④ デカルトが基礎を築いた科学研究や法則・理論は以下のどれか。
- a 質量保存の法則      b 血液循環の仕組み      c 解析幾何学      d 光の波動説
- ⑤ 『パンセ』に関して、正しい説明はどれか。
- a キリスト教弁証論のために記した断片的なノートで、「人間は考える葦である」というパスカルの有名な言葉は、この書のなかの一文である。
  - b 神学的観点から合理主義や自由主義、個人主義に基づく啓蒙思想を主張した。
  - c 死後公刊されたこの書の前に、パスカルは人間の宗教心を自然のうちに求めた『エミール』を著している。
  - d 人民主義の立場から自然法を唱え、のちの百科全書派に影響を与えた。
- ⑥ 『单子論』の内容に関して、正しい説明はどれか。
- a 世界はすべて「見えざる手」という「单子（モナド）」によって動かされていると主張し、この主張はのちにベンサム『国富論』にとりいれられた。
  - b すべてのものは自己完結的な「单子」から成っており、その相互の関係は神の予定調和であるとする。
  - c スコラ学を大成したアウグスティヌスの「一者」に着想を得て、单子としての人間は、最高善の現れである一者との絶対的な調和によって生かされているとする。
  - d 12世紀に、実在するのは個々の事物（单子）だけであり、神や普遍といった概念は抽象的な名にすぎないと唱えたロジャー＝ベーコンの唯名論を、物理学的に再解釈しようとした。
- ⑦ ヒュームに関して、正しい説明はどれか。
- a ドイツの哲学者で、知識は自我と自然との合一に基づくとする同一哲学を説いた。
  - b イギリスの哲学者で、弁証法哲学を確立した。
  - c ドイツの哲学者で、存在が認識を規定するという唯物論を展開し、マルクスに影響を与えたとされる。
  - d イギリスの哲学者で、初め経験論を主張していたが、のちに懐疑論にいたった。

II

次の1～3の文章を読み、設問X・Yに答えなさい。

- 1 高句麗は、4世紀初からはじまる中国の分裂・混乱に乗じて、朝鮮半島の北部から中国東北地方の南部を領する大國に成長した。そのころ半島南部にはいくつかの部族連合体が分立しており、そこから成長して半島南東部を領有した新羅は、同じく( 1 )を統一して半島南西部に覇をとなえた百濟および高句麗と対立し、朝鮮半島ではこれら三国が激しく抗争する時代を迎えた。6世紀末に中国を統一した隋は、高句麗の征服をめざしたが成功せず、つづく唐は新羅と結んで百濟を滅ぼし、ついで高句麗を滅ぼした。そのち唐は高句麗の旧都に安東都護府を置いて朝鮮支配の拠点としたが、新羅はしだいにその勢力を退けて、7世紀の後半には半島の大部分を統一した。新羅は、唐の文化や制度および仏教などを受容し、すぐれた貴族文化や仏教美術がさかえた。その首都の近郊に建てられた( 2 )に残された石造多宝塔などの建築物は、その栄華を今日に伝えるものである。
- 2 小アジアに進出したティムールに大敗し、滅亡の危機に瀕したオスマン帝国は、( 3 )の治世のもとで内政を整えて帝国の再興をはかり、( 4 )年にはコンスタンティノープルを攻略して、この地に首都を遷した。そのち、サファヴィー朝を攻撃して版図を東に広げ、さらに西方ではシリアを経てエジプトに遠征してマムルーク朝を討滅した。このようにして広大な版図を支配したオスマン帝国は、さらにバルカン半島を北上してウィーンを包囲するとともに、広大な地中海を「我らの海」と呼ぶほどに強勢を極め、ヨーロッパの政局にも重大な影響をあたえたが、17世紀後半になると、帝国の諸方に衰退の兆しがあらわれ、バルカン方面ではオーストリア・ポーランド・ロシアなどの攻勢に屈して、後退を余儀なくされた。
- 3 ヨーロッパ人から「暗黒大陸」と呼ばれたアフリカに対して、フランスは、19世紀前半にアルジェリアを支配下に置いたのち、1881年には東接するチュニジアを保護国とし、さらにサハラ砂漠を占領して、これらの支配地域と東海岸の( 5 )、およびマダガスカル島をむすぶ横断政策を推進した。これに対してイギリスは、スエズ運河の株式買収を契機にして本格的な進出を開始し、1882年には、列強の内政干渉に反対する軍人らの武装蜂起を鎮圧してエジプトを保護下におき、つづいてエジプトに南接する( 6 )を占領した。またさらに、これと並行してイギリスはケープ植民地を獲得したのち、南アフリカ戦争を経て、1910年には南アフリカ連邦を組織するにいたった。このようなイギリスの政策はフランスの植民地政策と衝突して険悪な情勢を引き起こしたが、両国は互いに譲歩して解決をはかった。

設問X 空欄( 1 )～( 6 )に入れるのに最も適切な語をa～eのなかから一つ選び、その符号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- |               |           |           |          |          |
|---------------|-----------|-----------|----------|----------|
| (1) a 辰韓      | b 加耶(伽耶)  | c 馬韓      | d 任那     | e 弁韓     |
| (2) a 海印寺     | b 大雁塔     | c 大秦寺     | d 大明宮    | e 仏国寺    |
| (3) a メフメト2世  | b バヤジット1世 | c スレイマン1世 | d アフメト3世 | e セリム1世  |
| (4) a 1451    | b 1453    | c 1455    | d 1457   | e 1459   |
| (5) a モンロヴィア港 | b タンジール港  | c トリポリ港   | d ダカール港  | e ジブチ港   |
| (6) a カメルーン   | b スーダン    | c タンガニーカ  | d モザンビーク | e ナイジェリア |

設問 Y 下線部 ①～⑨ に関する設問について、最も適切な解答を (ア)～(オ) のなかから一つ選び、その符号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ① 4～6世紀における中国の説明として誤りを含むものはどれか。
- (ア) 北魏の孝文帝は、平城から洛陽に遷都し、風俗・習慣・制度などの漢化政策をすすめた。
  - (イ) 北魏では、村落制度である三長制が実施されるとともに均田制が導入された。
  - (ウ) 晋は中国を統一したが、八王の乱や異民族の侵入などによって華北は分裂状態となった。
  - (エ) 匈奴に洛陽をうばわれた晋の王族は江南にのがれ、建康に都をおいて晋を再建した。
  - (オ) 天師道を創始した寇謙之は、盛況を極めた仏教教団に対抗して廃仏を推進した。
- ② 隋の説明として誤りを含むものはどれか。
- (ア) 北魏いらいの名門出身で、北周の外戚であった楊堅が建国した。
  - (イ) 隋は江南に進出し、589年に陳を滅ぼして中国を再統一した。
  - (ウ) 隋は均田制や府兵制を採用し、税制として租庸調制を確立した。
  - (エ) 文帝は、九品中正制度にかえて学科試験による官吏登用制度を創設した。
  - (オ) 煬帝は、広通渠と永濟渠からなる大運河を開削し、江南と汴州をむすんだ。
- ③ 唐代の制度・文化・宗教に関する説明として正しいものはどれか。
- (ア) エフェソス公会議で異端とされたネストリウス派は、安史の乱後の長安にはじめて伝わり、景教と称された。
  - (イ) 盛況を極めた仏教は、道教を信奉する則天武后が断行した仏教弾圧によって唐末までにはおおむね衰退した。
  - (ウ) 高宗の皇太子である章懐太子李賢は、後漢時代の歴史を伝える『後漢書』に注釈を施した人物として知られる。
  - (エ) 訓詁学を大成した孔穎達の『五経大全』は、儒教經典の標準的な解釈を示して、科挙の受験者に広く読まれた。
  - (オ) 中書省は詔勅を審議する機関で、貴族勢力の牙城としてしばしば詔勅の内容に修正を迫り、皇帝権を制約した。
- ④ サファール朝の説明として誤りを含むものはどれか。
- (ア) イスマール1世は、ティムール帝国の衰退で混乱したイラン西北部を統一し、タブリーズを首都とした。
  - (イ) この王朝は、十二イマム派を国教とし、スンナ派の宗主オスマン帝国とは抗争をくり返した。
  - (ウ) イラン民族の独立を回復したこの王朝は、伝統的な君主の称号である「シャー」を採用した。
  - (エ) この王朝は、オランダ人が占領してそのアジア貿易の拠点としていたホルムズ島を奪回した。
  - (オ) アッバース1世が営んだイスファハーンには華麗なモスクや宮殿が建てられ、「世界の半分」とたたえられた。
- ⑤ マムルーク朝の説明として誤りを含むものはどれか。
- (ア) シリア方面に侵入したイル＝ハン国軍を撃退してイスラーム世界の防衛をはたした。
  - (イ) サラーフ＝アッディーンを建国者とするアイユーブ朝に仕えたマムルーク軍団が建てた国である。
  - (ウ) モンゴル軍に滅ぼされたアッバース朝の一族を保護し、イスラーム世界の盟主であることを示した。
  - (エ) 教皇インノケンティウス3世の提唱した十字軍を撃破して、イスラーム世界を守った。
  - (オ) その首都カイロはカーリミー商人の拠点となって繁栄し、華麗なイスラーム文化が開花した。
- ⑥ ポーランドに関する説明として誤りを含むものはどれか。
- (ア) ロマン派の作曲家ショパンは、1830年のワルシャワ蜂起の失敗に衝撃を受け、練習曲「革命」を作曲した。
  - (イ) ポーランドの自主管理労働組合「連帯」の指導者ワレサは、国民の支持を得て大統領に就任した。
  - (ウ) ラジウムとポロニウムは、この国に生まれたキュリー夫人が夫との共同研究によって発見したものである。
  - (エ) アメリカの独立軍に参加したコシチューシコ(コシューシコ)は、ポーランドに侵攻したロシア軍と戦った。
  - (オ) この国出身の教皇ヨハネ＝パウロ2世は、ソ連の政治改革によってもたらされた東欧の民主化運動に反対した。

⑦ スエズ運河の説明として誤りを含むものはどれか。

- (ア) フランス人レセプスの指導によって完成したスエズ運河は、ヨーロッパとアジアを結ぶ最短航路を実現した。
- (イ) 第二次世界大戦中、エジプトに英軍基地が置かれたのは、1882年に結ばれたスエズ運河地帯駐兵権に由来する。
- (ウ) 日英同盟を結んだイギリスは、日露戦争に際してバルチック艦隊のスエズ運河の通過を完全に阻止した。
- (エ) 米英によるアスワン＝ハイダム建設援助が撤回されると、ナセル大統領はスエズ運河の国有化を宣言した。
- (オ) スエズ運河の国有化に反対するイスラエルは英仏両国とともにエジプトに侵攻し、スエズ戦争が勃発した。

⑧ この武装蜂起の説明として正しいものはどれか。

- (ア) クリミア戦争やアロー戦争に従軍した英国軍人ゴードンは、この反乱の制圧に参加して戦死した。
- (イ) マフディーを自称するムハンマド＝アフマドがひきいるイスラーム教徒が起こした反乱である。
- (ウ) この反乱は、ウラマーや商人たちを中心に展開されたタバコ＝ボイコット運動がきっかけとなった。
- (エ) 立憲革命をめざしたウラービー（オラービー）は、英軍によって逮捕され、セイロン島に流刑とされた。
- (オ) 反帝国主義とパン＝イスラーム主義を主唱するアフガーニーが指導した民族独立運動である。

⑨ この戦争の期間内のできごとはどれか。

- (ア) 全インド＝ムスリム連盟の結成
- (イ) 辛丑和約の締結
- (ウ) 大日本帝国憲法の発布
- (エ) ハーグ密使事件
- (オ) サレカット＝イスラームの結成

Ⅲ 古代から中世にかけての東西民族の衝突や戦争に関する次の文章を読み、下の設問 X・Y に答えなさい。

紀元前 6 世紀、ギリシアのアテネでは民主政治への改革が行われていたが、<sup>①</sup> 東方ではアケメネス朝ペルシアが専制的な大帝国を形成し、小アジア沿岸のギリシア人の諸都市に支配を拡大していた。これに対し、ミレトスなどの <sup>②</sup> **A** の諸都市が連合して前 500 年に反乱を起して、ペルシア戦争が始まった。アテネはマラトンの戦いでペルシア軍を撃退し、さらに将軍 **B** の奇略によりサラミス湾の海戦でペルシア海軍を破り、またスパルタとの連合によって陸戦でも勝利をあげた。ペルシア戦争は、東方の専制政治に対するギリシア民主政治の抗争であったが、<sup>③</sup> これ以降はアテネやスパルタを中心にギリシアの覇権をめぐる闘争が展開された。

8 世紀になると、フランク王国のメロヴィング朝の王権が衰退するに伴い、宮宰職を世襲的に独占していたカロリング家<sup>④</sup>が政治の実権を握るようになった。一方、8 世紀前半、イスラーム帝国は **C** の下で勢力を拡大し、東はイランから中央アジアに進出し、西は北アフリカ、スペインを経て、ガリアの地まで進出した。<sup>⑤</sup> **D** 年、西ヨーロッパのカルル＝マルテルのフランク軍は、トゥール・ポワティエ間の戦いでイスラーム軍を撃破し、ピレネー山脈以西にまで後退させた。これによって、ヨーロッパのゲルマン＝カトリック世界が防衛され、<sup>⑥</sup> カール大帝の時代に西ヨーロッパの統一世界が成立した。

10 世紀頃、<sup>⑦</sup> ノルマン民族の侵入と前後して、フランク王国東部には、アジア系諸民族が進出し始め、とりわけドナウ川中流域に移住した **E** は、ドナウ・ライン上流から北イタリアまで侵略した。10 世紀に王位に就いたザクセン家のハインリヒ 1 世は、この撃退に王家の威信をかけ、その子オットー 1 世は 955 年に **F** の戦いで、決定的に勝利した。**E** は、以後パンノニアに定住し、<sup>⑧</sup> ハンガリー王国を建国した。一方、オットー 1 世は、962 年、教皇から帝冠を授けられ、これが<sup>⑨</sup> 神聖ローマ帝国の実質的な起源となった。それ以後、ドイツ王が皇帝の地位に就くようになったが、歴代の皇帝はイタリア政策に精力を傾注したため、国内は不統一のまま混乱をきたした。

設問 X 文中の空欄 **A** ～ **F** に入る最も適切な語を、a～d の中から一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。

- |   |   |          |   |        |   |        |   |        |
|---|---|----------|---|--------|---|--------|---|--------|
| A | a | トラキア     | b | イオニア   | c | ミシア    | d | フリギア   |
| B | a | テミストクレス  | b | プラタイア  | c | ペリオイコイ | d | リュクルゴス |
| C | a | ウマイヤ朝    | b | 正統カリフ  | c | アッバース朝 | d | 後ウマイヤ朝 |
| D | a | 712      | b | 723    | c | 732    | d | 743    |
| E | a | ヴァイキング   | b | マジヤール人 | c | チェック人  | d | デーン人   |
| F | a | ヘースティングス | b | レヒフェルト | c | イッソス   | d | カタラウヌム |

設問 Y 文中の下線部 ①～⑨に関する次の問いについて、最も適切な解答を a～d の中から一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。

- ① 紀元前 6 世紀のアテネにおける民主政治改革について述べた次の文の中で、正しいものはどれか。
- ドラコンによって、初めて成文法が制定され、法による秩序の維持が図られた。
  - ソロンによって、財産政治の実施、負債の帳消し、債務奴隷の禁止などの改革が実施された。
  - ペイシストラトスが僭主政治を打破し、中小農民を保護して文化事業にも力を注いだ。
  - デモステネスが陶片追放（オストラシズム）の制度を設けて、僭主の出現を防いだ。
- ② アケメネス朝ペルシアの国王が古いものから時代順に並んでいるものはどれか。正しいものを選びなさい。
- カンビュセス 2 世 → ダレイオス 1 世 → キュロス 2 世 → ダレイオス 3 世
  - ダレイオス 1 世 → キュロス 2 世 → カンビュセス 2 世 → ダレイオス 3 世
  - カンビュセス 2 世 → ダレイオス 1 世 → ダレイオス 3 世 → キュロス 2 世
  - キュロス 2 世 → カンビュセス 2 世 → ダレイオス 1 世 → ダレイオス 3 世

- ③ 紀元前5世紀のアテネとスパルタに関して述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a アテネは、ペルシアの報復に備えてデロス同盟を結成し、ほかのポリスを支配した。
  - b アテネは、ペリクレスの指導のもとで、直接民主政の制度を整備していった。
  - c スパルタはアイオリス人のポリスで、エパメイノンダスのもとで勢力を拡大した。
  - d ペロポネソス戦争では、スパルタはペロポネソス同盟の盟主としてアテネに対抗した。
- ④ メロヴィング朝の王権が衰退した8世紀における出来事として、次の中で正しいものはどれか。
- a 西ゴート王国の滅亡
  - b ブルグンド王国の滅亡
  - c ユスティニアヌス帝の即位
  - d ヴァンダル王国の滅亡
- ⑤ イランから中央アジア地域に関して述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a 前4世紀のアレクサンドロス大王の死後、ギリシア系のセレウコス朝が支配した。
  - b 前3世紀にバクトリアが建国され、東西文明の交流や貿易で栄え、後3世紀まで存続した。
  - c 後3世紀にササン朝が建国され、ローマ帝国やビザンツ帝国との抗争を繰り返しながらも7世紀まで存続した。
  - d 後5～6世紀の中央アジアには遊牧民エフタルが勢力を拡大していたが、突厥と同盟したホスロー1世によって滅ぼされた。
- ⑥ カール大帝が神学者アルクインを招き、学校を開設させるなどして、カロリング＝ルネサンスの中心地とした都市はどこか。正しいものを選びなさい。
- a パリ
  - b アーヘン
  - c ラヴェンナ
  - d ケルン
- ⑦ ノルマン人の活動や建国について述べた次の事項が、古いものから時代順に並んでいるものはどれか。
- a ノルマンディー公国の成立 → ノルマン朝の成立 → 両シチリア王国の建国 → ノヴゴロド国の建設
  - b ノヴゴロド国の建設 → ノルマンディー公国の成立 → ノルマン朝の成立 → 両シチリア王国の建国
  - c ノルマンディー公国の成立 → ノヴゴロド国の建設 → ノルマン朝の成立 → 両シチリア王国の建国
  - d ノヴゴロド国の建設 → ノルマンディー公国の成立 → 両シチリア王国の建国 → ノルマン朝の成立
- ⑧ ハンガリー王国について述べた次の文の中で、正しいものはどれか。
- a 10世紀から13世紀まで、ハンガリーではヤゲウォ（ヤゲロー）朝が栄えた。
  - b 14世紀のカジミェシュ1世が、ハンガリー最初の法典の整備を行った。
  - c 15世紀のマーチャーシュ1世はベーメン王を兼ね、ルネサンス文化の導入にも尽力した。
  - d 16世紀にハンガリー王国からワラキア公国が自立した。
- ⑨ 神聖ローマ帝国の皇帝に関連して述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a 神聖ローマ皇帝ハインリヒ5世は、教皇カリクストゥス2世と12世紀にヴォルムス協約を結んだ。
  - b 神聖ローマ皇帝フリードリヒ1世は、第3回十字軍に参加した。
  - c 神聖ローマ皇帝カール4世は、金印勅書を発布し、皇帝選出権を8人の選帝侯が持つことを承認した。
  - d 神聖ローマ皇帝カール5世は、スペイン国王を兼ね、多くのドイツ諸侯と反目してルター派を弾圧した。



## IV

次の文章を読み、設問X・Yに答えなさい。

第二次世界大戦後、アメリカとソ連を中心とする東西両陣営の対立のなかで、アジア東部では中国、朝鮮、ベトナムが分断国家となり、アメリカとソ連それぞれが分断国家の一方を支援し、戦争も交えた鋭い対立が続いた。こうした状態が揺らぎ始めたのが1970年代である。台湾を支配する中華民国を唯一の中国政府としていたアメリカの大統領補佐官（A）が、1971年7月、きびしく対立していた中華人民共和国を突然訪問した。翌72年2月には大統領ニクソン自身も同国を訪問して、共産党主席毛沢東、首相周恩来と会談し、中華人民共和国を事実上承認したことで、米中間の緊張は解消に向かった。④その間、アメリカが国連での中国代表権問題について方針を転換したことから、71年10月には中華人民共和国の国連加盟が実現し、中華民国は国連から追放された。アメリカの中華人民共和国接近を受け、西側陣営に属していた日本も、1972年9月、首相（B）が中華人民共和国を訪問し、同国との国交を正常化させた。

中華人民共和国では1977年に文化大革命が終結し、実権を掌握した鄧小平の下、改革開放政策が始まった。同国は78年9月、日本との間の（C）に調印し、さらに79年1月、アメリカとの国交を樹立し、鄧小平自身も日本やアメリカを訪問して改革開放を推進することになった。その後、中華人民共和国とアメリカや日本など西側諸国との経済関係は飛躍的に拡大する。この間、1975年に中華民国総統蔣介石が、また76年に毛沢東が相次いで死去したことも影響し、両者の間の緊張も緩和の方向に進み始めた。

アメリカはベトナム戦争でも方針転換し、1973年1月には（D）を締結してベトナムから撤退した。その結果ベトナムでは、75年4月にベトナム民主共和国軍と南ベトナム解放民族戦線がベトナム共和国の首都（E）を陥落させ、南ベトナム全土を制圧した。ベトナム共和国は崩壊し、翌76年7月、ベトナム社会主義共和国が成立してベトナムの分裂は終息した。

こうして中国とベトナムでの対立の構図は緩和し、アジア東部は新たな展開を見せ始めたのであるが、朝鮮半島の南北の対立はさらに続き、東西両陣営の対立も続くことになる。

設問X 文中の空欄（A）～（E）に入る最も適切な語を一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- |       |          |   |        |   |           |   |         |
|-------|----------|---|--------|---|-----------|---|---------|
| (A) a | マーシャル    | b | マッカーシー | c | ジョンソン     | d | キッシンジャー |
| (B) a | 福田赳夫     | b | 大平正芳   | c | 田中角栄      | d | 池田勇人    |
| (C) a | 日中平和友好条約 | b | 日中共同声明 | c | 日華平和条約    | d | 日中共同宣言  |
| (D) a | エヴィアン協定  | b | ハーグ協定  | c | ジュネーヴ休戦協定 | d | パリ和平協定  |
| (E) a | ハノイ      | b | サイゴン   | c | プノンペン     | d | ビエンチャン  |

設問Y 文中の下線部①～⑩に関する下記の設問について、最も適切な解答を一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ① この戦争の一つが朝鮮戦争である。次の文のうち、この戦争の説明として誤りを含んでいるものはどれか。
- 1951年、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）は北緯38度線を越えて大韓民国（韓国）に進攻し、朝鮮半島全域を制圧した。
  - 国連安全保障理事会は、北朝鮮を侵略者と認定して国連軍を出動させた。
  - 中華人民共和国は北朝鮮を支援して、義勇軍を派遣した。
  - 1953年に休戦協定が成立し、北緯38度線附近の軍事境界線での朝鮮半島の南北分断が固定化された。
- ② 中華民国に関する説明として誤りを含んでいるものはどれか。
- 1912年、孫文を臨時大総統として建国された。
  - 袁世凱の死後、列強の支援を受けた軍閥が形成する軍閥政権が十年以上にわたって続いた。
  - 国共内戦で中国国民党が中国共産党に敗北したため、1950年に首都を北京から台北に移した。
  - 総統蔣経国の死去に伴い、李登輝が台湾出身者として初めて総統の地位に就き、中華民国の国際社会での地位向上に努めた。

- ③ ニクソンは1974年に大統領を任期途中で辞任したが、そのきっかけとなったできごとはどれか。
- a 九・一一事件      b 公民権運動      c ウォーターゲート事件      d プラザ合意
- ④ 毛沢東の活動が年代順に正しく並んでいるものはどれか。
- a 遵義会議で共産党の主導権を掌握 → 中華ソヴィエト共和国臨時政府主席に就任 → 新民主主義を提唱  
b 遵義会議で共産党の主導権を掌握 → 新民主主義を提唱 → 中華ソヴィエト共和国臨時政府主席に就任  
c 新民主主義を提唱 → 中華ソヴィエト共和国臨時政府主席に就任 → 遵義会議で共産党の主導権を掌握  
d 中華ソヴィエト共和国臨時政府主席に就任 → 遵義会議で共産党の主導権を獲得 → 新民主主義を提唱
- ⑤ 1972年に日本で起こったできごとはどれか。
- a 警察予備隊発足      b 沖縄復帰      c 日米安全保障条約改定      d 日朝首脳会談
- ⑥ 西側諸国を始めとする世界の経済は、1970年代に非常に大きく変動した。このことに関連する文章として誤りを含んでいるものはどれか。
- a アメリカがドルと金の交換停止を発表したため、ドルの価値が急激に下落した。  
b 国際通貨体制は、固定相場制からブレトン＝ウッズ協定に基づく変動相場制に移行した。  
c 第4次中東戦争を機に、サウジアラビアなどアラブ石油輸出国機構（OAPEC）が、イスラエルを支援する諸国への石油禁輸、石油の減産、石油価格の引き上げなどの措置をとったため、先進工業国は大きな打撃を受けた。  
d イラン革命をきっかけとする産油激減により、石油価格が急激に高騰した。
- ⑦ 1920年代～1930年代における蔣介石に関する文章として誤りを含んでいるものはどれか。
- a 1921年、ヨッフエと会談して「連ソ・容共・扶助工農」の方針を確認し、打倒軍閥・打倒帝国主義の方針をうち出した。  
b 1926年、国民革命軍総司令となって国民党の軍事権を握り、北伐を開始した。  
c 1927年、上海クーデタをおこして共産党を弾圧し、南京国民政府をたてた。  
d 1936年、対共産党攻撃の督戦に西安に来ていたところを張学良・楊虎城によって捕らえられた。
- ⑧ 1945年から1973年に至る時期のベトナムに関して、次の（ア）～（エ）のことがらが正しい順に並んでいるものはどれか。
- （ア）アメリカが北爆を開始した。  
（イ）トンキン湾でアメリカ駆逐艦がベトナム民主共和国の魚雷艇から攻撃を受けたと報道された。  
（ウ）北緯17度線を暫定的な軍事境界線とする協定が結ばれた。  
（エ）ゴ＝ディン＝ジエムがベトナム共和国の大統領となった。
- a （ア）－（イ）－（ウ）－（エ）  
b （イ）－（ア）－（エ）－（ウ）  
c （ウ）－（エ）－（イ）－（ア）  
d （エ）－（イ）－（ア）－（ウ）
- ⑨ 1970年代の朝鮮半島情勢の説明として正しいものはどれか。
- a 韓国は日本との間で日韓基本条約を結び、国交を正常化した。  
b 韓国の大統領朴正熙は経済成長政策を続けたが、暗殺された。  
c 北朝鮮は朝鮮共産党が政治を指導し、独自の社会主義理論である主体思想を掲げて、韓国との対立政策を続けた。  
d 北朝鮮では主席金日成が死去したが、長子の金正日が後継者として権力を掌握した。
- ⑩ 東西対立のなかで、アメリカとソ連の間で行なわれた戦略兵器の数量や運搬手段の制限による軍縮を目指した交渉は略称で何とよばれるか。
- a CIO      b SALT      c CTBT      d SEATO

V 次の文を読み、設問X・Yに答えなさい。解答はすべてマーク解答用紙の所定欄にマークすること。

ロシアは帝国主義勢力としては出遅れたが、19世紀中盤以降、外国資本の導入によって産業の近代化を進め、オスマン帝国や清朝下の中国に進出して、領土および勢力の拡大を図った。1853～56年のクリミア戦争に敗れたロシアは、1877～78年のロシア＝トルコ戦争では勝利し、トルコと締結した条約で大幅な利権を獲得した。しかし、バルカン半島でのロシア勢力の伸張を押さえようとする列強の意向のために、<sup>ア</sup>ロシアはいったん獲得していた利権を放棄し、**A** 条約に調印せざるを得なくなった。

また東アジアでは、特に日清戦争後大陸への進出著しい日本との対立が強まり、1904年には日露戦争が始まった。この戦争で、ロシアは戦況の不利を挽回できず、国内で社会主義革命の動きさえ起こったため、アメリカ大統領の仲介で日本と講和した。1906年、首相となった**B** は国民の不满を逸らせようと、再びバルカンへの南下政策を強めた。この政策も遠因となって第一次世界大戦が勃発することになる。

この大戦が始まってほどなく、ロシア軍は**C** でドイツ軍に敗れ、ドイツ軍はロシア国内に進撃した。ロシア国内の物資供給は滞り、国民の不满が高まって、デモ・ストライキ・兵士の蜂起が続き、ユリウス暦1917年2月、<sup>エ</sup>ロマノフ朝は倒れた。この後権力を握ったソヴィエト政権は、ドイツと単独講和を結ぶ。

第一次世界大戦終結後も、ソヴィエト＝ロシアはパリ講和会議には招かれず、戦後結成された国際連盟からも排除された。やがて一国社会主義論を掲げるスターリンがソヴィエト政権の実権を握り、国内外に大きな影響を及ぼすことになった。<sup>カ</sup>1939年8月には独ソ不可侵条約が締結される。しかし、1941年、ドイツ軍はソ連を奇襲攻撃し、首都に迫った。ソ連軍は当初劣勢で多大の犠牲者を出したが、1942～43年の**D** 包囲戦以降、攻勢に転じた。

1945年2月、アメリカ・イギリス・ソ連の首脳は**E** において、第二次世界大戦終結を目指す会談を行った。この三国を中心とする連合国は、共同宣言で大西洋憲章を第二次世界大戦後の世界体制の原則として確認していたが、戦争の帰趨が明らかになるにつれ、イデオロギー上の対立などから、東西冷戦の構図が現れるようになった。この対立は戦後さらに激化し、**F** 年にはNATOに対抗するワルシャワ条約機構が結成された。

ソ連指導部はスターリンの死以降、緊張緩和と自由化を掲げるようになったが、東欧諸国で独自の自由化の動きが起こると、厳しくこれを弾圧した。1966年にソ連の**G** が提案し、1975年に実現した全欧安全保障協力会議以降、東欧諸国では水面下で改革を求める動きが続いた。その後、1985年に開始されたグラスノスチとペレストロイカを掲げるソ連の政策改革の結果、東欧社会主義圏は崩壊し、ソ連も解体された。

設問X 文中の**A**～**G** にあてはまる適当な語を一つ選びなさい。

- |   |            |           |           |             |
|---|------------|-----------|-----------|-------------|
| A | ① サン＝ステファノ | ② ベルリン    | ③ カルロヴィッツ | ④ セーヴル      |
| B | ① ウィット     | ② ポチョムキン  | ③ ストルイピン  | ④ プチャーチン    |
| C | ① タンネンベルク  | ② マルヌ     | ③ ソンム     | ④ ヴェルダン     |
| D | ① モスクワ     | ② ペトログラード | ③ スモレンスク  | ④ スターリングラード |
| E | ① カイロ      | ② テヘラン    | ③ ヤルタ     | ④ ポツダム      |
| F | ① 1947     | ② 1949    | ③ 1954    | ④ 1955      |
| G | ① フルシチョフ   | ② コスイギン   | ③ プレジネフ   | ④ アンドロポフ    |

設問Y 文中の下線部ア～クに関して、それぞれの問いに最も適した答を一つ選びなさい。

ア 以下のうち、下線部に関連することがらの説明として不適当なものはどれか。

- ① ブルガリアはオスマン帝国から独立して、ロシアの保護下に入るとされていたが、結局オスマン帝国下の自治国とされた。
- ② ルーマニア・セルビア・モンテネグロの独立が承認された。
- ③ オーストリアはボスニア・ヘルツェゴヴィナの統治権を獲得した。
- ④ ドイツはロシアとの再保障条約を延長した。

イ 以下のうち、20世紀初頭のロシアにおける社会主義政党的説明として不適当なものはどれか。

- ① 社会革命党はナロードニキの流れをくみ、専制政治の打倒と農民への土地の再分配をめざした。
- ② 急進社会党は革命の原理を党是とし、人権や反教権世俗教育を活動の柱とした。
- ③ ロシア社会民主労働党はマルクス主義を掲げて活動を開始したが、1903年に分裂した。
- ④ メンシェヴィキはロシア語で「少数派」を意味し、ボリシェヴィキは「多数派」を意味する。

ウ 以下のうち、第一次世界大戦中のできごととして不適当なものはどれか。

- ① 西部戦線では塹壕戦が続き、同盟国側・連合国側とも毒ガス・戦車などを投入した。
- ② イタリアは三国同盟加盟国だったが、ロンドン秘密条約により連合国側に加わった。
- ③ 日本は香港・シンガポール・ソロモン諸島などを占領した。
- ④ ドイツではキール軍港での水兵蜂起をきっかけとして、各地に革命運動が広がった。

エ 以下のうち、ロマノフ朝君主の説明として不適当なものはどれか。

- ① ニコライ1世は、国内でデカブリストの乱を平定し、対外的にはクリミア戦争を始めた。
- ② アレクサンドル1世は、クリミア戦争敗北の反省から、国家の近代化を目指した。
- ③ 17世紀初め、ミハイル＝ロマノフはロシア皇帝となり、ロマノフ朝を開いた。
- ④ エカチェリーナ2世は、クーデタによって夫の帝位を奪った。

オ 以下のうち、国際連盟の説明として不適当なものはどれか。

- ① 国際連盟の本部はスイスのジュネーブに置かれた。
- ② 国際連盟には国際労働機関と常設国際司法裁判所が付設された。
- ③ ロカルノ条約締結により、ドイツとソ連は同時に国際連盟加入が認められた。
- ④ 日本は国際連盟の常任理事国の一つであった。

カ 以下のうち、スターリン時代の説明として不適当なものはどれか。

- ① 重工業化推進による社会主義建設をめざして、第1次五カ年計画が実行された。
- ② 農業の集団化と機械化をめざし、集団農場・国営農場建設が強行された。
- ③ アメリカの「封じ込め」政策に対抗して、各国共産党の連絡・調整を行うコミンフォルムが設立された。
- ④ キューバで、カストロの率いる勢力がバティスタ政権を打倒して革命を成功させるのを支援した。

キ 以下のうち、この会談で決められたことがらの説明として不適当なものはどれか。

- ① 降伏後のドイツを米・英・仏・ソ連で共同管理することを定めた。
- ② ドイツ降伏後3ヶ月以内に、ソ連が対日戦に参加することを定めた。
- ③ 日本が降伏した場合には、朝鮮を独立させることを定めた。
- ④ ソ連の対日戦参加の条件として、樺太南部や千島列島をソ連領とすることを約束した。

ク 以下のうち、スターリン死後、1950～60年代に起こったことの記述として不適当なものはどれか。

- ① ハンガリーでは社会主義体制からの離脱を求める大衆行動がソ連軍に鎮圧され、首相が処刑された。
- ② 農業集団化推進などの結果、東ベルリン経由で西側に逃れる人が増加すると、東ドイツは東西ベルリンの境界に壁を築き、脱出を阻止した。
- ③ チェコスロヴァキアで改革派の共産党書記長が自由化を推進しようとした際、ワルシャワ条約機構軍が軍事介入した。
- ④ ポーランド西部の都市ポズナニで、生活苦と自由の抑圧に反発する学生・労働者の反乱が起きると、ソ連軍が介入して鎮圧した。

[以 下 余 白]